

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2016年8月31日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	イタリア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ヴェネツィア大学 現地言語: Ca Foscari Universita
留学期間	2015年9月～2016年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	国際関係 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年8月13日
明治大学卒業予定年	2017年9月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～1月下旬 2学期:2月上旬～7月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	19,187
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨(Euro)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	270	30,000円	
食費	200	22,000円	
図書費	50-100	5000-10,000円	
学用品費	10	1100円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	558.78	64000円	形態:海外旅行保険(日本で登録しました)
渡航旅費	350	40,000円	
雑費	50	5700円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	1488.78-1538.78	17万516-17万6243円	

## 渡航関連

**渡航経路:** Narita, Tokyo→ Abu Dhabi→ Marco Polo, Venice

渡航費用

チケットの種類	Economy
往路	40,000
復路	60,000
合計	100,000 円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

アメリカの Cheap tickets というサイトからチケットを購入しました

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

大学のドミトリー、アパート

2) 部屋の形態

個室 OR  相部屋(同居人数 3)

3) 住居を探した方法:

<https://www.facebook.com/groups/23017758882/>  
この FB ページから住居を探したり、友達に紹介してもらいました。

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

一回だけではないかもしれませんが、一回だけの機会だと思って一生懸命挑戦し、いろんなことを経験してください。シェンゲン国家というメリットで他のヨーロッパの国々をビザなしに回ることができます。自分の夢と関わるイベントやセミナーが色んな国々、地域に開かれていると思うので、それらの機会を逃さず、頑張ってください。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

いいえ。友達や先生に相談していました。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

ローマに行った時、銀行の ATM でお金を引き出そうとしたら、できなかつたことがあります。銀行に電話したらカードが盗用され、インドネシアで使われていたということでした。ATM を使う時は必ず銀行内にある ATM を使うのを勧めます。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Ca Foscari 大学生の場合は Venice connected という wifi を使うことができますので(学生番号/PW) 普段はその WIFI をつかったり、ポケット wifi を購入して使ったりしていました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

親から私の韓国の銀行口座にお金を送金してもらい、そのお金をイタリアの ATM で引き出すという方法を利用していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

特になし

## 進路について

1) 進路

就職  進学  未定  その他:

2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

UNWTO(United nations World Tourism Organizations),United Nations Food and Agriculture Organization,UN Report,UN WOMEN
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 UN Peace University
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 個人的な経験になりますが、私は興味のある分野だと思ったことに何度も疑問を持ちたり、“why”をつけて考えていました。それで、もしそれが自分の興味のある分野だと考え続けられたら、その分野とかかわっている人に連絡をしたり本を読むなどのことをしていました。何かを準備するのとても大事ですが、その前にたくさん経験したりその仕事に関わっている人であって現場でしかわからない話を聞くのもいいと思います。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
42 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Gender, Family and migration	ジェンダー、家族そして移民
科目設置学部・研究科	国際関係
履修期間	
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Ouali nouria
授業内容	ジェンダーは何か、移民が国によってどう扱われているのかについて
試験・課題など	毎回のレポート、最終エッセイ
感想を自由記入	ジェンダーや女性の地位が国によってどう扱われているのかが違って興味深かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Italiano	イタリア語
科目設置学部・研究科	学部指定なし
履修期間	2月-6月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Barbara D'ANNUNZIO
授業内容	イタリア語の文法やスピーキングを教わる
試験・課題など	口頭、筆記試験
感想を自由記入	イタリア語で授業を行っていたので、最初は説明を理解するのが難しかったが、先生がとても親切で気づかってくださって楽しく授業を受けることができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Intercultural Communication		異文化コミュニケーション	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	9月～10月		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	PAVAN Elisabetta		
授業内容	異文化を理解し、自分の国の文化などを共有、発表する		
試験・課題など	口頭試験、エッセイ		
感想を自由記入			

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Middle East Asia Studies		中東アジア研究	
科目設置学部・研究科	国際関係		
履修期間			
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	Legrenzi Matteo		
授業内容	シリアとパレスチナの関係などを歴史から研究し、現状を知る		
試験・課題など	口頭試験		
感想を自由記入	恥ずかしい話だが、中東アジアについて何も知らなかったので、今回の授業で中東戦争などの歴史を少しでも知ることができてよかったです		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Korean Literature		韓国文学	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間			
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		
担当教授	JUNG IMSUK		
授業内容	韓国の昔の文学と一緒に読み、分析する		
試験・課題など	筆記試験		
感想を自由記入	韓国人なのに、韓国の文学に対しての知識がないと思ってとった授業でしたが、先生が親切にいろいろと詳しく説明してくださってとてもよかったです		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese(Politic・Society), Japanese literature, Japanese translation		日本語(政治・社会)、日本語文学、日本語翻訳	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間			
単位数	12		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 分が 回		

担当教授	Masaki Suzuki, CALVETTI Paolo, NAKAYAMA Etsuko
授業内容	日本の文学や政治、社会に関わっている記事を読んだり、短編小説を読んでお互いの意見を共有。日本語だけではなく日本の文化も学べる授業
試験・課題など	口頭試験、筆記試験
感想を自由記入	イタリアで留学することで日本語を忘れたくないというのと、もっと日本語を勉強したいと思ってとった授業でした。先生が様々な視点で日本語や文化を教えてください、学生とのディスカッションを大事にしてくださいだったので、同じトピックでもそのトピックに関しての色々な考え方を学ぶことができました。

### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	留学先選択
4月～7月	志願書作成、提出
8月～9月	
10月～12月	面接
2015年 1月～3月	選考
4月～7月	出願、ビザ申請
8月～9月	ビザ取得、住居選択
10月～12月	住居移動、中間試験、授業、ボランティア(日本語)、セミナー、旅行
2016年 1月～3月	期末試験、2月：後期スタート、セミナー
4月～7月	中間テスト、期末テスト、試験後の旅行
8月～9月	ポーランドでのインターンシップ、韓国でのインターンシップ
10月～12月	

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	私はずっと海外、特にヨーロッパの人はアジア人を差別することが多いという今考えるととても悪い考え方を持っていました。どんな本を読んでも、ヨーロッパ旅行をしてきた人から経験談を聞いても直すことができず、では、自分で直接行って経験して考えようということで海外に行くことを決めました。留学先を決める中、ヴェネツィア大学について調べたら、貿易などのため、アジアがヨーロッパの言語、歴史を学ぶも前から、アジアの文化、言語を学んでいて、変な固定観念を持っている私にぴったりだと想い、ヴェネツィア大学に留学しようと決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学するために、もっと英語かその国の言語を勉強したり、自分の受けたいと思っている授業に関わっている分野の本を読んだりすればよかったなと思っています。というのもまず英語ができないと、あるピックについてディスカッションしようとしても伝えることができず、聞く側になってしまうからです。ものごとによる考え方が地域によって違う時がありますが、それを面白い、新鮮と思ってくれる学生や先生もいるので、語学力を向上させることを強くおすすめします。また、アジアや自分の国で話題になったことをよく聞かれたりするので本を読んだり、インターネットで調べたりして事前に勉強しておくことをお勧めします。
この留学先を選んだ理由	一番の質問と同様
大学・学生の雰囲気	大学は学生にたくさんの機会を提供していました。とても感動したのは①私は国際関係の授業を受けていましたが、国際関係専攻の学生のために、海外からたくさんの教授や人々を招待し、たくさんのセミナーを開いていました。様々な国々の状況を聞くことができ、その方々の意見もきくことができ、とてもよかったです。②最初はたくさんのレポートや課題でとても大変でしたが、多くの学生が自分の専攻勉強のために一生懸命頑張っていることを見て、とても感銘をうけ、モチベーションにもなりました。やるべきだからではなく、やりたいことをやる。そのために一生懸命知識を身につけようとするイタリアの学生をみて、自分の大学に対するイメージもかわり、今までの大学生活を反省し、振り返る時間になりました。
寮の雰囲気	寮には二ヶ月住んでいましたが、お互いのマナーが守られていない時が多かったです。夜中に歌を歌う人がいる反面、冷蔵庫に食べ物をおくと、盗まれるということもあったので、あまり人と交流するという雰囲気ではありませんでした。しかし、寮の正門に警備員さんがいて、いつも夜安心して帰ることができたので、その点はとてもよかったです。
交友関係	最初は授業や大学の行き方に慣れることで大変でしたが、授業で声をかけてくれたり、食事に招待してくれた人がいて、一緒に勉強やご飯を食べに行くことで仲良くなりました。また、10月にボランティアとして日本語を(日本語能力試験)教えていましたが、最初は先生、学生だった関係が時間がたつていつのまにか友達になり、今は悩み事があるたびに相談したりするとても仲の良い関係になりました。
困ったこと、大変だったこと	最初はアジア人だからということで差別されたり、インターネットができなくてとても大変でした。しかしその時ヴェネツィア大学の Buddy さんからいろいろと教えてもらったりサポートしてもらったので短期間で乗り越えられることができました。
学習内容・勉強について	私は国際関係を勉強していて、後期からは女性というピックとかかわっている分野を勉強していましたが、それらの授業では学生同士が意見を交換したり、お互いが学んで勉強したことを共有する時間が多かったです。専門用語や経験などが足りない私としては最初とても苦労したり落ち込んでいましたが、周りのクラスメイトや先生からアドバイスをもらったり、足りないところについて教えてもらっていました。
課題・試験について	口頭試験が初めてで、またエッセイの量がとても多く、最初とてもパニックでしたが、1日にやる量を時間をわけてやったり、ポジティブに考えようとしていました。
大学外の活動について	国際関係のセミナーに参加したり、ヴェネツィアで開かれた映画祭や EXPO などにも参加していました。
留学を志す人へ	個人的なことになりますが、これが後輩やこれから留学に行くことを考える方々に役に立つらと思って共有させていただきます。私は1年生の時からイタリアに行く前までずっと国連世界観光機関である UNWTO で働きたいと思っていました。それで、イタリアに行けることが決まった時、本部がスペインにあるので、絶対訪問したいと思い、ウェブページに書いてあるメールアドレスに私の紹介をし、想いを伝えて訪問お願いの連絡をしました。そしたら、直接関係者から連絡があり、30分会えることができ、スペインの UNWTO を見学し、インタビューすることができました。行く前に読んだ年間報告書を読んだら、UNWOMEN にもっと興味があり、もう4年生なのに今更変えても大丈夫ですか、、?と聞いたら、これから生きて行く人生のほうが長いし、やりたいことをやるべきと言われ、そこで私の進路は変わりました。ヨーロッパはお互い近い(全ての国がということではありません)のでたくさんの経験ができると思います。機会があったら、逃さずにチャンスを掴んでください!

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業						
	授業	授業					
午後	友達とのランチ	ランチ	授業			友達との約束	教会
	自習	自習					
夕刻		友達とのコーヒー		授業	授業		
夜							

